

渡島・檜山支庁の気象

平成22年1月（2010年）

函館海洋气象台

平成22年3月1日

◎ 気象概況

この期間、上旬は発達した低気圧や寒気の影響により、中旬は一時的に強い寒気が入って冬型の気圧配置が強まり、荒れた天気となった日があった。下旬は冬型の気圧配置が長続きせず、低気圧や気圧の谷の影響により、雪が降る日が多かった。

月平均気温は平年より高く、月降水量は平年並～平年より少なく、月間日照時間は平年並～平年より少なかった。

【上旬】

1～2日は低気圧の通過と寒気の流入により、雪一時曇で所々ふぶいた。3日は冬型の気圧配置となり、雪で渡島東部では曇った。4日は冬型の気圧配置が続き、概ね曇で朝まで一時雪が降った。5日は低気圧の接近により雪が降った。6日は低気圧の通過により、曇った。7日は冬型の気圧配置が緩み、晴れた。8日は冬型の気圧配置となり、晴時々曇で所々一時雪が降った。9日は低気圧の通過により、曇で太平洋側では時々晴れた。10日は気圧の谷の通過により、雪時々曇で太平洋側では時々晴れた。

【中旬】

11日は冬型の気圧配置となり、曇一時雪で渡島の所々で時々晴れた。12日は低気圧の接近により、概ね曇で夕方から一時雪が降った。13日は低気圧の通過により、曇で時々雪が降った。14日は低気圧の接近により、雪で太平側では時々晴れた。15日は低気圧の通過により、概ね雪で渡島の所々で時々晴れた。16日は強い冬型の気圧配置となり、雪で所々ふぶいた。17日は強い冬型の気圧配置が続き、雪時々曇で太平洋側では晴れた。厚沢部町鶉では明け方に晴れて、放射冷却により、気温 -23.2°C を観測、年間を通して日最低気温の低い方からの極値を更新した。18日は気圧の谷の中で、概ね曇で一時雪が降った。19日は気圧の谷の中で、曇で時々晴れた。20日は前線の接近により、曇で夕方から雨や雪が降った。前線に向かい南から暖気が流入し長万部で気温 8.1°C 、今金で気温 8.9°C を観測し、それぞれ1月における日最高気温の高い方からの極値を更新した。

【下旬】

21日は冬型の気圧配置となり、曇で夕方から雪が降った。22～23日は冬型の気圧配置が続き、雪が降った。24日は気圧の谷の中で、概ね曇で一時雪が降った。25日は前線の通過により、概ね曇で雨や雪が降った。26日は冬型の気圧配置となり、概ね曇で一時雪が降った。27日は気圧の谷の通過により、曇で時々雪が降った。28日は前線の接近により、雨や雪が降った。29日は冬型の気圧配置となり、概ね曇で一時雪が降った所があった。30日は気圧の谷の中で、概ね曇で一時雪が降った。31日は日中晴れたが、低気圧の接近により、夜から雪や雨が降った。

気温：各地点の月平均気温は -3.4 ～0.2℃で、平年差は+0.9～+1.4℃。

すべての観測点で平年より高かった。

降水量：各地点の月降水量は 10.0～148.0 mmで、平年比は 31～102%。

長万部・函館市美原・松前・今金・江差で平年並のほかは、平年より少なく、せたな町瀬棚・八雲町熊石・上ノ国町石崎では平年よりかなり少なく、上ノ国町石崎で観測した 27.5mm は、1月における月降水量の少ない方からの極値を更新した。

日照時間：各地点の月間日照時間は 21.1～79.0 時間で、平年比は 55～93%。

長万部・今金で平年並のほかは、平年より少なく、北斗・函館市美原・厚沢部町鶉では平年よりかなり少なく、北斗で観測した 44.7 時間・厚沢部町鶉で観測した 25.3 時間は、それぞれ 1月における月間日照時間の少ない方からの極値を更新した。

注：数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値

	気温 (°C)		降水量		日照時間		降雪量	月最深積雪 (cm)
	月平均	平年差	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)	月合計 (cm)	
函 館	-1.7	+1.2	74.0	102	59.0	55	156	45
江 差	0.0	+1.1	80.0	92	22.7	63	90	21

(平年比・差は1971年から2000年までのデータで算出した平年値を用いて求めています。)

◎ 気象官署、特別地域気象観測所の極値更新表

官署名	項目名	観測した極値	起年月日	従来の極値	起年月日	統計開始年
函 館	1月における降雪の深さの月合計	156cm	2010年1月	146cm	1998年1月	1953年

江差における1月の極値の更新はありません。

◎ 異常気象および気象災害発生状況

《1月5日～6日、渡島地方》

概 況：発達中の低気圧が北海道の南海上を進み、渡島西部や渡島東部では東よりの強風となり、湿った大雪となった。

気象現象名：大雪、強風、波浪

気象災害名：積雪害、雪圧害、海上波浪害、その他（風害）

気象観測値：最低海面気圧（函館市美原） 996.7hPa （5日13時30分）

最大風向・風速（函館市美原） 東北東 12.6m/s （5日13時38分）

最大風向・風速（松前） 東北東 12.7m/s （5日12時18分）

瞬間最大風向・風速（函館市美原） 東 20.4m/s （5日13時33分）

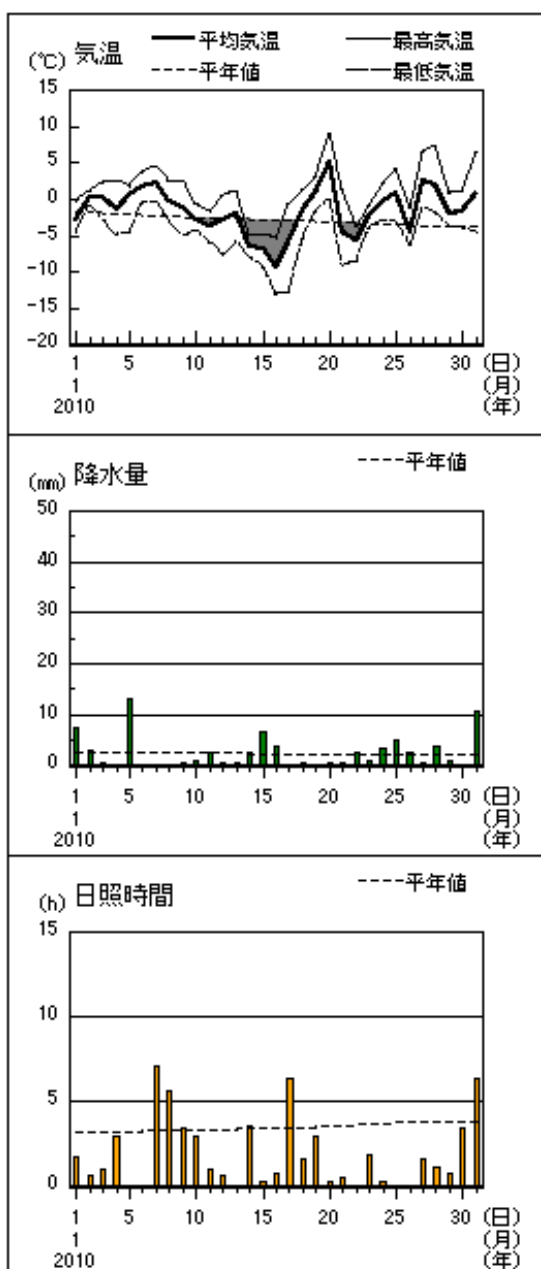
瞬間最大風向・風速（松前）	東 21.2m/s	（5日 12時 15分）
降雪の深さ日合計最大（函館市美原）	6cm	（5日）
最深積雪（函館市美原）	28cm	（5日）
最深積雪（福島町千軒）	66cm	（5日）
積雪差日計 0-24（森）	41cm	（5日）
最大波高（松前）	（速報値） 3.1m	（5日 18時）
有義波高（松前）	（速報値） 2.1m	（5日 18時）

被害状況：強風と積雪の重みで複数倒木し送電線に接触、2,264戸が約5時間停電。航空機、函館－丘珠便など13便欠航。JR函館線、除雪のため函館－森間1本運休。フェリー、函館－青森便など3便欠航。

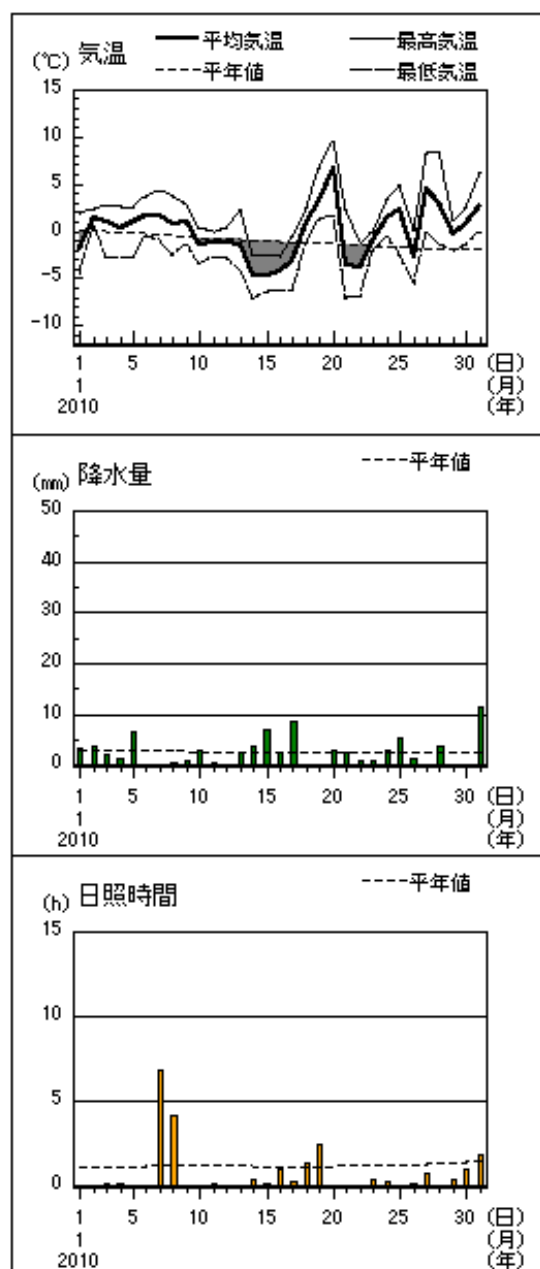
◎ 氣象經過圖（1月）

地上氣象：2010年1月1日-2010年1月31日

函館



江差



◎ 気象分布図（1月）

注：以下の気象分布図は地域気象観測統計に基づき作成しているため、気象官署の函館および江差の値が異なる場合があります。

